

2013年7月2日

報道各位

J X日鉱日石金属株式会社
三井金属鉱業株式会社
パンパシフィック・銅株式会社

佐賀製錬所で生産する金地金の紛争鉱物対応について
—— LBMA 監査ガイダンスに基づく監査に合格 ——

J X日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正、以下 PPC）は、紛争鉱物対応に関連し、PPC が佐賀製錬所で生産する金地金について、6月28日付で監査法人（KPMG あずさサステナビリティ（株））から監査の合格を示す「保証報告書」を取得いたしました。

今回の監査は、LBMAが定める紛争鉱物の監査ガイダンスに基づく保証手続きの一環で、製錬所が紛争地域から鉱石を調達しないためのマネジメント体制について第三者が確認を行うものです。今後LBMAにより、PPCがCFS（Conflict Free Smelter 紛争鉱物を使用していない製錬所）リストに掲載されることになる予定です。

PPC では今後とも、定期的に社内教育、内部監査等を行うとともに、毎年第三者による監査を受け、LBMA の定める監査ガイダンスに準拠した紛争鉱物対応の体制を確保することで、お客様に安心してご使用いただける金地金を供給してまいります。

※紛争鉱物（コンフリクト・メタル）

コンゴ民主共和国（DRC）およびその周辺地域における非人道的行為などの不正行為に関わる鉱物。金、スズ、タンタル、タングステン4種が指定されており、PPC ではこのうち金の製錬を行っている。

※LBMA（London Bullion Market Association、ロンドン貴金属市場協会）

貴金属の取引を行う金融機関等で構成される。同協会の Good Delivery List に登録されることにより、流通段階での高い信用が担保される。PPC の金地金は、LBMA の Good Delivery List に登録されている。

以上

【お問合せ先】

パンパシフィック・銅株式会社 総務部 TEL：03-5299-7403